



吉川工業株式会社
表面処理・保全事業部

喜々津航平さん
Kikitsu Kohei

ものづくり企業で働きたくて 北九州での就職を決めました

福岡県大野城市出身。幼い頃から化学に興味を持ち、九州工業大学へ進学。化学の知識が生かせるものづくり企業への就職を目指し吉川工業へ。製鉄に使われる圧延ロールの表面めっき加工を行う工場で、生産管理の仕事に邁進中！

「北九州の企業を選んだ理由は？」

高校生の頃から化学に興味を持ち、化学系の学部のある九州工業大学に進学しました。大学では有機化学を専攻していたので、その分野に関わる仕事がしたいと考えていました。吉川工業を知ったのは、就職支援サイトがきっかけです。化学系の分野にも関わる企業だと知り興味を持ちました。化学メーカーを中心に何社か検討したなかで、面接時に人の温かさを感じたことが印象に残り、吉川工業を選びました。若い人も主体的に仕事ができる風土があると感じたことも決め手になりました。

「北九州の住み心地はどうですか？」

大学進学で北九州に通うようになる以前は、治安の点で少し不安でした。就職を機に地元である大野城市から北九州へ移住し、いざ住んでみると買い物にも便利で、人も優しく住みやすい街だと感じています。住居については、自社寮制度が完備しており、家賃などの固定費が抑えられているのも助かっています。

「どんな仕事をしているの？」

現在入社5年目で、初年度より表面処理・保全事業部に所属しています。主に、製鉄工程で使われる圧延ロールの表面めっき加工を行う工場で、生産管理を担当しています。その他にも、担当しているお客様のニーズを掘り起こし、工場と調整しながら製造方法を検討する営業的役割も一部担っています。お客様と現場の間に立ち、ご要望が実現できるように調整するのが私の役割です。

「仕事のやりがいや大変な点は？」

大変なことは、工程通りに作業が進まないことです。一方で、そういった時に原因を追求して解決できた時にやりがいを感じます。不具合が起きると対応に時間がかかり、納品スケジュールに影響が出てしまいます。そのため、問題が起きてから対応するのではなく未然に防ぐ取り組みを進めています。調整役として全体を見ながら進めるのは難しいことですが、生産管理の重要な役割だと感じています。

「仕事上の失敗談はありますか？」

入社3年目のときに、製造していた製品のめっき条件を誤って設定してしまい、めっき液によって製品が腐食し、本来のサイズより小さくなって製品として出せなくなったことがありました。その結果、納期が大幅に遅れ、製造コストも無駄になってしまいました。自分にとって初めての大きな失敗

でとても落ち込んでいましたが、上司から「この経験を次に生かすことが大事だ」と言われたことが心に残っています。

「職場環境はいかがですか？」

上司とも比較的フランクに話すことができ、相談もしやすい職場だと感じています。最近では女性社員や若手も増えてきていると思います。長く勤めている方も多いです。

で、働きやすい職場なのではないでしょうか。

「ものづくり系企業の魅力とは？」

私の携わっているめっき処理の仕事は、鉄の製造に必要不可欠な技術で、製造業を支える大事な役割を担っていると思います。自分が関わった技術や知識が実際の製品に生かされ、それが市場で使われていくのを見るとその一端を担

「就活生にアドバイスを！」

大学で学んだことや自分の興味のある分野を生かせる仕事かどうか、給与や福利厚生などの待遇面以上に大切だと思います。私自身、幼い頃から興味があった化学に関わる職場を選び、その知識を生かしながら仕事に携われることにやりがいを感じています。今は現場で働いていますが、将来的には、社内の研究職に就くことも目標のひとつです。弊社には若いうちからチャレンジできる環境があります。責任のある仕事を任せられることも多いため大変な面もありますが、その分成長できる機会も多いと感じます。専門的な技術のため一般の方の目に触れることはありませんが、製造業を支える重要な役割を担っています。社会を支えるものづくりに関わりたい、自分自身も成長したいという方には、ぜひ興味を持っていただければ嬉しいです。

えた実感が湧きます。そういった達成感が、ものづくりの仕事の大きな魅力だと思います。

成長を目指せる会社かどうか
それが大事だと思います



吉川工業株式会社

北九州市八幡東区尾倉 2-1-2
<https://www.ykc.co.jp/>

1920年に官営八幡製鐵所のパートナーとして創業し、鉄鋼分野で培った技術開発力で、エンジニアリング、表面処理、エレクトロニクス、ICT分野において、新たなサービスと付加価値を提供。豊かな発想とグループの総合力によって持続可能な社会の実現を目指す。